

加 佐

学校だより 5月号

令和4年5月2日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<https://kasa-maizuru.edumap.jp/>



新緑の候 保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育にあたたかいご理解・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。過日の家庭訪問や PTA 総会・授業参観では、保護者の皆様方お一人お一人の感染拡大防止へのご配慮とご協力を頂き、充実した内容にすることができました。誠にありがとうございました。



部活動 先輩の動きに続け

新年度が始まり、一か月が経ちました。1年生の生徒たちは学校にも慣れ、授業や部活動に元気いっぱい励んでいます。5月は修学旅行や職場体験学習・校外学習などの大きな行事を計画しています。さらに、6月当初には、市民スポーツ祭や市内総合体育大会が控えています。感染防止・健康管理の徹底を重ねながら、それぞれの学習活動を効果的で意義深いものとするために丁寧に準備をしています。

大型連休で蓄えたエネルギーとともに、適度な緊張感を保ちつつ生徒たちが生き生きと活動し、ぐんぐん伸びる新緑のように力をつけることが5月の目当てです。

「特別活動」と「総合的な学習の時間」

5月6月は、教室での授業のほかにも複数の魅力的な「実践」「探究」に励みます。

特別活動では「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の大きく3つの視点を踏まえつつ、学活・生徒会活動・部活動・学校行事などでの実践を通して、集団や社会の形成者としての「見方・考え方」を鍛えたり、互いの良さを生かしながら主体的に課題を解決する能力を高めます。一方、総合的な学習の時間は、文字通り教科や領域の枠組みを超えて横断的・総合的に接続し「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・発表」のプロセスに沿って探究的・発展的な学習を繰り返しながら、より良く課題を解決したり自己の生き方を考えていくための力を磨きます。

同じ学校行事でも「修学旅行」の成功に向けた実践は特別活動と言えますし、修学旅行の訪問地にまつわる歴史的・社会的な内容について課題を設定し、探究的に取り組むことは総合的な学習となります。

何を学ぶか、どのように学ぶか、何ができるようになるか 毎時間の授業において「指導者」と「学び手」が、本時のねらい・値打ちを共有することは欠かせない、とされています。目的や価値を共有することで実効ある学習活動とするための、綿密な計画と工夫を重ねて臨みます。

保護者・地域の皆様方の、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

くれぐれもお体を大切に、どうぞご自愛ください。

舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる